

## 多重債務者対策

多重債務者が200万人を超えられる中で、多重債務に関する相談件数は、増加傾向にあるものの極少数にとどまっている。都は、今後、多重債務者の発見、相談、生活再建までの一体的な消費者対策やヤミ金取締りの強化など、総合的に取り組む必要がある。

### 1 多重債務を取り巻く現状

#### (1) 多重債務に関する相談等

国民生活センターが集計した全国の消費生活センターにおける多重債務に関する相談件数は、年々増加しており、平成18年度に全国で79,246件、都内では、7,877件となっている(図1)。

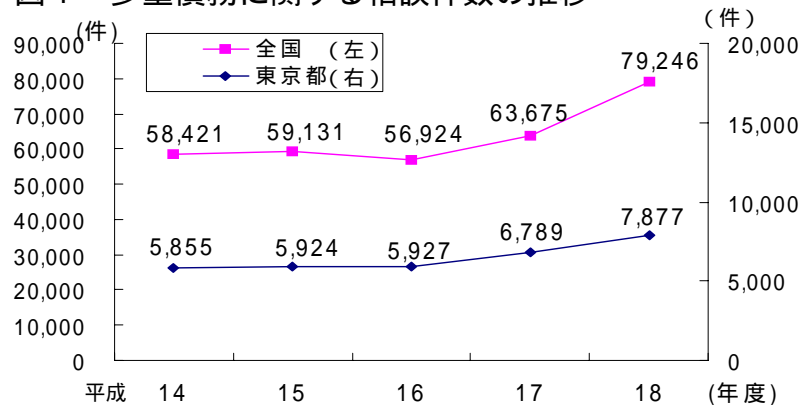
多重債務の相談は、弁護士会や司法書士会の相談センターなどでも行っており、平成17年度には、合計で約16.8万件となっている(図2)。

一方で、全国の多重債務者は、200万人を超えとも言われているが、正確な数字を把握した統計はない。

しかし、貸し手である貸金業者等は、信用情報機関を通じて、貸し倒れを防ぐための借手の情報共有し、審査している。

貸金業で最も多く会員となっているのが、全国信用情報センター連合会である。無担保貸付人数が1,399万人、3か月以上滞納となっている事故情報人数が267万人であり、多重債務者もしくはその予備軍の存在が懸念されている(図3)。

図1 多重債務に関する相談件数の推移



出所：独立行政法人国民生活センター・東京都HP

図2 相談機関別相談件数(平成17年度)

相談機関	相談件数
	多重債務関連 / 全件数
日本司法支援センター	約4.9万件 / 8.9万件
弁護士会・法律相談センター	約4.7万件 / 15.8万件
司法書士会・総合相談センター	約0.8万件 / 1.9万件
地方自治体の消費生活センター	約6.3万件 / 130万件
(財)日本クレジットカウンセリング協会	約1,400件 / -
合計	約16.8万件 / 156.6万件

出所：金融庁「多重債務者相談マニュアル」は、16年度

図3 信用情報機関の概要(平成18年4月前後の公表データ)

	全国信用情報センター連合会		CIC	全銀協	CCB
	33センター	テラネット			
会員数	2,315社	133社	747社	1,502社	529社
会員資格	貸金業協会会員	個人向け与信業者	日本クレジット産業協会会員等	金融機関等	金融機関貸金業者等
無担保貸付人数	1,399万人	471万人	846万人	1,047万人	1,279万人
事故情報人数	267万人	39万人	54万人	74万人	293万人

出所：金融庁資料より作成 注)事故情報・3か月以上の延滞等

## (2) 貸金業に対する規制等

これまで、サラ金や商工ローンが社会問題化する中で、貸金業規制法改正による取立規制、出資法改正による上限金利の引下げなどが行われてきた。平成16年1月には、無登録業者のヤミ金問題により、貸金業者の登録要件の厳格化や規制の強化などの改正が実施された。

貸金業は、国の財務局長又は都道府県知事の登録を受け、3年ごとに更新しないと効力を失うことになる。登録業者数は年々減少し、平成18年度では、14年度と比べて、全国で13,079社と半減し、都内でも2,770社と約4割まで減少している(図4)。

一方で、警察庁の平成17年ヤミ金融事犯の取締り状況では、無登録業者の計が191件と半数を超えている(図5)。

## 2 国の取組

### (1) グレーゾーン金利の廃止等

平成18年12月には、貸金業規制法等の改正が成立した。平成21年を目途に、貸金業者の純資産額の引き上げなどの規制強化、貸し過ぎを防ぐための借入残高の把握、グレーゾーン金利の廃止による上限金利の引き下げ等を実施していく(図6)。

図6 貸金業規制法等の主な改正

#### 貸金業者の業務を適正に行わせるための規制

貸金業者となるためのハードル引き上げる。(純資産5,000万円以上であること)  
テレビCMの内容・頻度などについて厳しい規制ルールを作る。  
借り手の自殺を対象とした生命保険契約を禁止する。

#### 借り過ぎ・貸し過ぎを防ぐ仕組みの整備

貸金業者からの総借入額が年収の3分の1を超える借入れを原則禁止する。

1社50万円超又は借入残高  
100万円超(個人向貸付)

年収等資料チェック  
義務

総借入額が年収の1/3を超える  
場合、原則貸付禁止

#### 上限金利の引き下げ

グレーゾーン金利を撤廃し、貸金業者の上限金利を、年利29.2%から、利息制限法の年利15~20%に引き下げる。

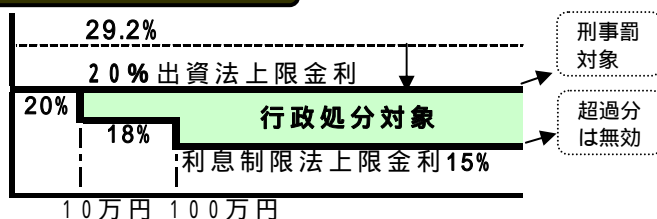
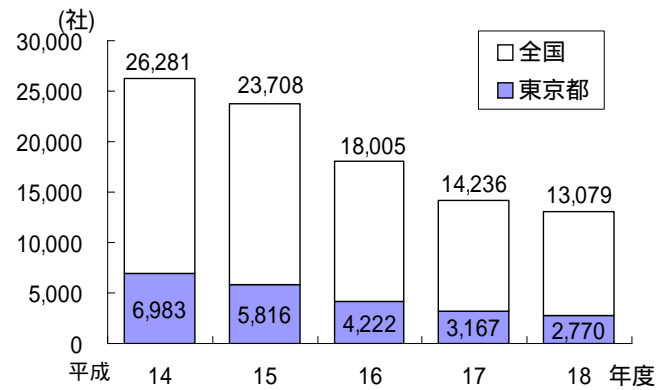


図4 貸金業登録業者数の推移



注) 18年度全国の数値は9月末時点

出所: 東京都HPより作成

図5 ヤミ金融事犯の取締り状況(平成17年)

事犯	事件数
無登録・高金利事犯	157
無登録事犯	34
高金利事犯	122
その他	26
総数	339

出所: 警察庁資料より作成

## (2) 多重債務者対策

改正貸金業規正法等の成立後、多重債務者対策の円滑かつ効果的な推進を図るため、内閣に關係省庁の横断的組織として、多重債務者対策本部を設置した。平成19年4月には、国・自治体等の取組の方向性を「多重債務問題改善プログラム」として策定した(図7)。また、7月には、債務整理に向けた具体的な相談に対応するマニュアルを策定した(図8)。

図7 多重債務問題改善プログラムの概要〔抜粋〕

### 丁寧に事情を聞いてアドバイスを行う相談窓口の整備・強化

市町村は、丁寧な事情の聴取・具体的な解決方法の助言ができるよう相談体制を充実。都道府県は、相談体制の充実とともに**多重債務者対策本部**(又は同協議会)を設置し、支援。国は、実践的な**相談マニュアル**の作成や自治体の相談員向けの研修を支援。

### 借りられなくなった人に対する顔の見えるセーフティーネット貸付の提供

各地域において、丁寧な事情聴取等を実施し、問題解決に資する場合には、低利で貸付けるモデル事業を拡大。

既存のセーフティーネット貸付(生活福祉資金貸付・母子寡婦福祉貸付等)の活用を促進。

### 多重債務者発生予防のための金融経済教育の強化

高校生までの段階で、全ての生徒が、借金をした場合の金利や返済額・上限金利制度・多重債務状態からの救済策等の知識を得られるよう取り組む。

### ヤミ金の撲滅に向けた取締りの強化

警察は、集中取締本部で摘発を強化。監督当局は処分徹底とともに積極的に警察へ情報提供。

図8 相談マニュアルの概要

### 相談マニュアルの概要〔平成19年7月策定〕

#### 相談者来訪

- ・相談者を安心させる
- ・借金の状況を整理する

#### 〔債務整理方法の提示〕

- 任意整理(債務者と弁護士等間で返済方法を和解)
- 特定調停(裁判所が利害関係を調整)
- 個人版民事再生(裁判所が認可した再生計画で債務返済)
- 自己破産(裁判所を通じて債務の支払いを免責)
- \* 利息制限法への引き直し計算(利息制限法の上限金利で計算)によって借金が大幅に減額する可能性

最後は法律専門家に面談の予約をする。

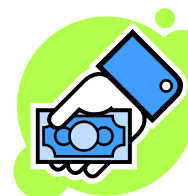
出所：金融庁HPより作成

## 過払い利息 自治体が初提訴へ

茨城租税債権管理機構(茨城県全市町村が参加し設立)は近く、大手消費者金融を相手取り、税金滞納者が借金返済で過剰に支払った利息(過払い金)を取り立てる民事訴訟を起こす。滞納状況を調べる中で、ある滞納者が大手消費者金融に利息を過払いしていると判明。この業者に過払い分約160万円を請求したが、「過払い金は存在しない」と支払いに応じないため提訴を決めた。

出所：平成19年8月30日 毎日新聞

COLUMN

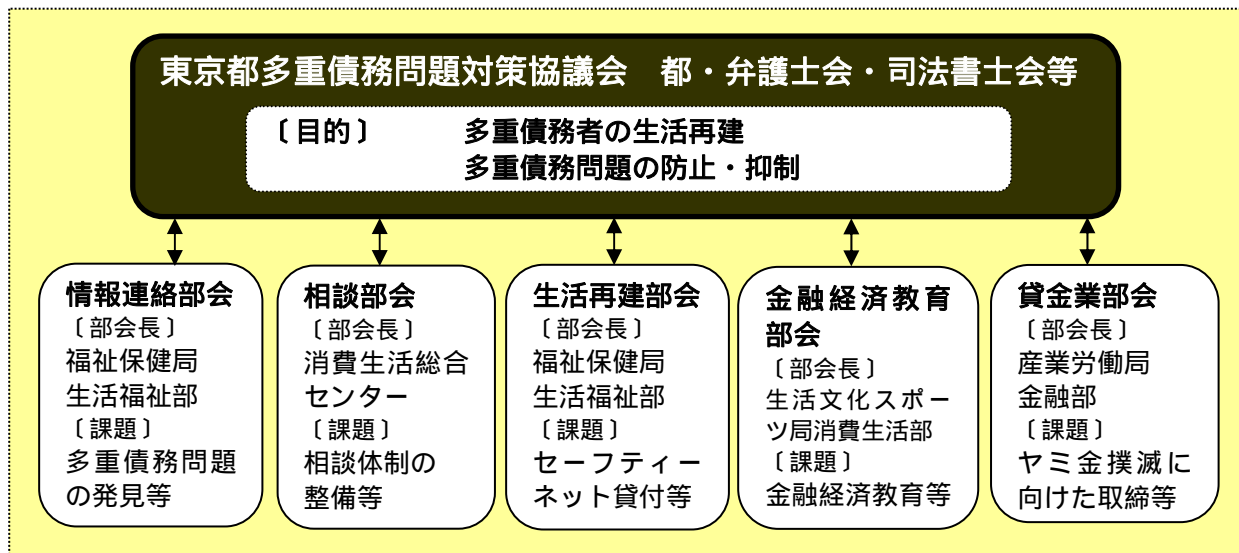


### 3 都の取組

#### (1) 多重債務者対策

平成19年8月に、都の関係各局と弁護士会、司法書士会等で構成する「東京都多重債務問題対策協議会」を設置した。設置の目的は、多重債務者の生活再建、多重債務問題の防止・抑制の2点であり、協議会の下に情報連絡部会など5つの部会を置いて、具体的かつ専門的な課題について協議していく(図9)。

図9 東京都多重債務問題対策協議会



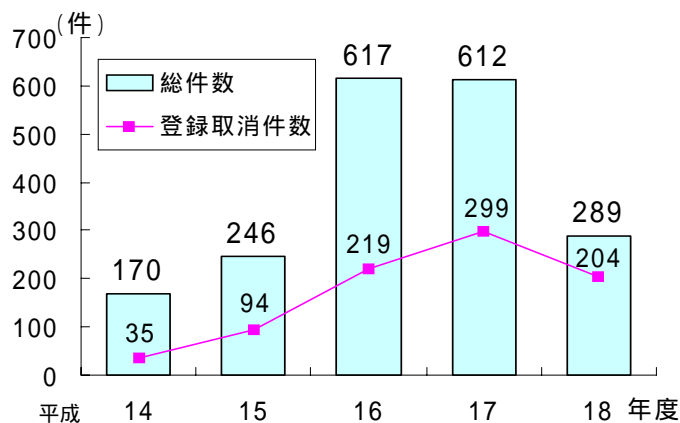
#### (2) 貸金業者への規制

産業労働局は、貸金業者の適正な業務運営を確保し、借り手等の利益保護を図るため、貸金業の登録、立入検査等による指導監督、苦情相談を実施している。

高金利や誇大広告等を行っている悪質な貸金業者に対しては、登録取消等の行政処分を実施している。平成18年度の行政処分総件数は289件であり、そのうち、高金利や誇大広告等で悪質性が高く登録取消としたのは、204件となっている(図10)。

また、無登録営業など違法な業者に対しては、警視庁との連携により排除を行っている。

図10 行政処分件数の推移



出所：東京都HPより作成

### 4 今後の課題

多重債務者が200万人を超えられると言われる中で、多重債務に関する相談件数は、増加傾向にあるものの極少数にとどまっている。一方、平成21年を目途に実施される貸金業に対する規制等を強化した貸金業法の改正により、悪質業者は排除されることとなる。

都は、今後、本年9月に設置した協議会の下で、多重債務者の発見や相談の充実、生活再建策の提示までの一体的な消費者対策を実施するとともに、無登録業者(いわゆるヤミ金)の取締りを強化するなど、総合的に取り組む必要がある。